

中東新冷戦を読み解く

千葉大学法政経学部教授
酒井啓子

- * 始まったイランとサウジの冷戦状態
- * IS掃討作戦が台頭させたイラン
- * イエメンでも代理戦争が勃発
- * サルマン皇太子とカシヨギ事件
- * アメリカのイラン制裁をどう見るか
- * イランへの脅威が高まるイスラエル
- * イスラエルがアメリカに支援を求める理由
- * 対立と融和を繰り返してきたイランとサウジ
- * トランプのアメリカはイランと戦争するか
- * ゴラン高原や西岸のイスラエル併合は可能か



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）
ほぼ1年ぶりに酒井先生においでいただきま
した。改めてご紹介の必要もないかもしれませんが、ご専門の中東の状況はまたいろいろ新しい問題が次々に起きております。日本のメディア等でお聞きになる情報は非常に限られたものでございますし、多分に誤解や思い込みで満ちた情報が飛び交っておりますので、今日は正確なお話をきちんと聞き直して中東を理解してお帰りいただけたらと思います。それでは酒井先生よろしくお願いたします。（拍手）

始まったイランとサウジの冷戦状態

酒井 本日はお招きいただきましてありがとうございます。今日ご紹介がございましたよ

うに「中東新冷戦を読み解く」というテーマでお話をさせていただきますと思います。

先ほどお話がございましたように、ちょうど1年ちょっと前にこちらのほうでお話をさせていただきました。いただいたと思いますが、今回の講演のお話をいただいたのは1カ月半ぐらい前でしょうか。5月のこの時期にお話をしてくださいとお願されたときには、昨年4月に話をしていられ、それ以降中東の構造はあまり変わってないなど、今までの1年間で大きな事件はちょこちょこあったんですけども、昨年4月に話したことと大きく変化することは今のところないな、今回のお話はどういうお話にしようかなと考えておりました。お配りしておりますレジュメも、1年前の状況からどういうふうな展開があった